

国際文化学科 一般入試（出題意図と採点基準）

【出題意図・配点】

比較的長い文章を正しく理解でき、それをまとめ、その上で、具体的な事例を考えて記述することができるのかどうかを見る。

（評価のポイント）

- ・課題の文章を読み取れているか（文章読解能力）。
- ・課題へ対応した解答をしているか、課題文の大意を理解できているか（問題把握能力）。
- ・自己の考えを論理的に述べる能力があるか（論理的思考力、文章表現能力）。

問1

自然からの資源の収奪というニュアンスが開発という言葉に付随するという内容の指摘があることが重要。単に、「地球の資源は限られ、水や大気の質と循環にも異常が生じている」から、と述べるだけでは不十分な解答とみなす。

問2

作者の主張を理解し、それを事例を交えて表現し、そのことに対して自己の考察を加えられるかどうかを評価の基準とする。必ずしも自分の経験によるものでなくてもかまわないし、作者の考えや論理と異なる点があっても論理的に叙述されていればかまわない。